

令和4年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<可茂地区> 八百津町立八百津中学校・八百津町立八百津東部中学校・岐阜県立八百津高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標と重点

(1) 連携型中高一貫教育の目標




「6年間を通して育てる・地域から学び、地域に貢献する人材の育成」～こつこつと学習に取り組み、まじめに生活を送る態度を育てる～

1. さらなる連携の推進 2. 確かな学力をつける 3. 生きる力を育む

(2) 連携型中高一貫教育の令和4年度の重点

- ・ 発達段階に応じたキャリア教育を進め、中学校2年生の職業体験と高校1年生のインターンシップを関連付けることで、高校でのデュアルシステムのさらなる充実を図る。
- ・ チャレンジテストの充実を図るとともに、継続的な取組の成果を実感させる工夫を進める。
- ・ 杉原千畝学習を継続し、12年間に及ぶ人道学習を継続発展させる。

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
さらなる連携	キャリア教育の推進	<p>○中学校では近隣地域での職場体験活動を実施することはできなかったが、高校1年生全員はインターンシップを、高校2年生の希望者19名は企業の協力で毎週木曜日にデュアル実習を実施することができた。</p> <p>○中学生体験入学、オープンスクールの際に「デュアルシステム説明会」を実施して連携中学校からは両日で28人が参加した。</p> <p>▲デュアルシステムの成果を連携中学校や地域に効果的に伝える方法としてオンライン配信・オンデマンド形式も併用していきたい。</p>  <p>【デュアル実習風景】</p>
	連携型入試の取組推進	<p>○チャレンジテストの継続的な取組、高校側による定期的なチェックと指導を行うことができた。</p> <p>○実力養成セミナーを連携の2中学校それぞれを会場として実施できた。</p> <p>▲チャレンジテストの重要性の生徒・職員への周知徹底を図る。</p>  <p>【チャレンジテストチェック】</p>
	相互理解の推進	<p>○連携中学校3年生体験入学で連携中学卒業生による説明や交流の場を設定した。</p> <p>▲継続的で分かりやすい発信方法を模索する。コロナウイルス感染防止対策下における交流活動(進路説明会、PTA見学会、部活動)での連携などを模索する。</p>  <p>【体験入学での交流会】</p>

(様式 5)

確かな学力	交流授業の充実	<p>○高校の授業公開により高校生のつまづきを把握することで、中学校段階で何に留意すべきか等について共通認識できた。</p> <p>○T Tによる交流授業は生徒の実態把握がしやすく教師生徒双方に効果があった。</p> <p>○八百津東部中学校への出前授業の内容を高校での授業体験からキャリア教育に変更して実施した。</p> <p>▲生徒の能動的な学びを引き出すT T指導の在り方や、出前授業の内容を模索検討する。</p>	
	6年間を見通した指導の充実	<p>○八百津中学校、八百津東部中学校を会場にして、夏休みの3日間中高連携学力養成セミナーを実施した。</p> <p>▲実力養成セミナーの中学校別の開催日程調整と参加者募集について見直しを図る。</p>	
	チャレンジテストの充実	<p>○八百津高校教員が八百津東部中学校と八百津中学校の高校説明会において、チャレンジテストの重要性(基礎学力の定着)について説明した。</p> <p>▲チャレンジテストの重要性について中学生及び保護者の方に理解していただけるように啓発活動を継続していく。</p>	 <p>【体験入学でのチャレンジテストチェック】</p>
生きる力	地域や異校種間連携の強化	<p>○7月9日(土)大垣市北公園野球場で行なわれた夏の全国高等学校野球選手権大会岐阜県予選の試合(八百津高校 対 岐阜東高校)に、3年ぶりに八百津中学校吹奏楽部が応援に参加した。</p>	
	人道教育の強化	<p>○連携中学校出身者にとって杉原千畝は身近な存在である。しかし他の中学校出身者も多いため、八百津高校1年生全員に対して杉原千畝についての学習をイスラエル出身の方を講師に招いて行った。</p> <p>▲人道教育での学びを日常の場面に生かす実践力の育成を目指す。</p> <p>▲地域や行政との日常的な連携の維持・強化を図る。</p>	